

令和7年2月定例市議会

行政報告要旨

総 社 市

本日、2月定例市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上ご出席くださいます。誠にありがとうございます。また、日頃から市議会の皆様には、議会運営に格別のご配慮を賜り、重ねてお礼申し上げます。

一昨日の「2025そうじゃ吉備路マラソン」は、多数のボランティアのご協力の下、無事開催できました。議員各位をはじめ、多大なるご協力をいただきました皆様に、深く感謝いたします。

1) 新庁舎竣工と日本一優しい市役所の実現

いよいよ2月28日に新庁舎が完成を迎えます。この新庁舎を日本一優しい市役所の発信基地として、新たなスタートを切っていきます。

新庁舎完成に先立って、2月19日より北側駐車場に40台駐車できるスペースを整備し供用開始して、合計105台の駐車スペースを確保しています。加えて、今後市成住宅を解体し、公用車駐車場を整備することにより、駐車スペース

のさらなる拡大を図る予定です。これまで新庁舎建設により、多くの市民の方にご不便をおかけしましたが、皆様に来ていただきやすい新庁舎になるよう努めてまいります。

また、3月9日には完成を記念して、竣工式を開催いたします。公募しておりました、議会棟1階の多目的ホールの名称については、最多数の応募があった「チュッピーホール」に決定いたしました。竣工式はこの「チュッピーホール」で開催いたします。

式典では、総社市ゆかりの音楽家による演奏や、こどもたちによるお祝いのイベントなどを予定しております。また、新庁舎の顔となる新しい看板は、高木聖雨先生に揮ごうしていただいております、その題字の除幕式も執り行う予定です。

新庁舎には総社市の特色を感じられるものをあらゆるところにちりばめております。これまで、市で保有していた美術品の展示に加え、全小学校区からそれぞれにゆかりある要素を取り入れております。例えば、維新地区のヒノキの使用や、新本地区の間伐材を使った什器など、総社市を体全体で感じてもらえるような庁舎に仕上がっております。

式典終了後には、新庁舎内覧会もありますので、多数の市民の方にお越しいただければと思います。

オープン日となる４月２１日からは、１階の「あたたか市民部」を中心として、手続きの完全ワンストップ化を実現し、最も市民に優しい市役所を目指します。また、新庁舎には高度な防災システムを導入した災害対策本部用の部屋を設置し、防災拠点機能を高めるとともに、防災スペシャリストである危機管理監を配置します。さらに、トイレカーや発電機の導入などにより緊急時の対応力を格段に向上させ、これまで以上に市民に安心を提供できる環境づくりに努めてまいります。

令和７年度は現庁舎の解体や修景池の移設工事等の周辺整備を予定しております。新庁舎のオープン後も、より市民に寄り添って使いやすく、末永く愛される新庁舎を創り上げるべく努力してまいります。

２）総社市制２０周年未来づくり予算（令和７年度当初予算）

さて、総社市は３月２２日に市制施行２０周年という節目

を迎えます。合併した1市2村が過去にとらわれず、これまで以上に1つの総社市として未来を切り拓く年度とし、その政策を推進するための予算にしたいと考えております。

そこで、この新たなスタートを切るための新年度予算を「総社市制20周年未来づくり予算」と名付け、総社市の未来を育むために全力投球で取り組んでまいりたい所存であります。

一般会計予算総額は、350億5千万円、前年度と比較し7億7千万円の減額、率にして、2.1%のマイナスとなっております。

それでは、予算の概要についてご説明いたします。総社市制20周年未来づくり予算では、「市民への感謝と還元」「子どもへの投資」「地域力向上への投資」この3つを柱としております。

まず、「市民への感謝と還元」につきましては、総社市制施行20周年を記念した、プレミアム付き商品券を発行したいと考えております。1人あたり最大4千円分のプレミアム付き商品券を発行し、総事業費は10億1,900万4千円

を予定しております。物価高騰に苦しむ市民への支援として、地方創生臨時交付金の活用に加え、市民のこれまでの支えに対する感謝の意味も込め、プレミアム率を40%とし、総社市全体が元気になるきっかけにできればと思います。

次に、「こどもへの投資」につきましては、総社市の未来を担うこどもたちのために、全体予算の約4分の1を充てます。本市はこども家庭庁設立前から、こどもを真ん中に据えた施策を展開し、「子育て王国そうじゃ」として取り組んできましたが、新年度予算においても充実した子育て応援メニューを盛り込んでおります。

代表的なものとして、これまでやってきました「中学校給食費の無償化」「幼稚園給食の提供」「中学生までの医療費無償化」を引き続き実施することに加え、「つどいの広場」を1か所増設し、市内全5か所とします。さらに、出産おめでとうギフトとして今年度から進呈しております「おむつクーポン」を、半年分から倍の1年分に拡充いたします。

これらを「子育て王国そうじゃ5大子育て応援メニュー」と位置づけ、積極的に発信し、若い世代の移住・定住につな

げていきます。

また、これらのメニューのほか、大きな課題である待機児童解消に対して、幼稚園の魅力化などあらゆる施策を講じてきましたが、新しい認可保育施設を設置することも含め、認可外保育施設にも重点を置いて予算化しております。認可外保育施設に対する助成については、全国的にも珍しい施策ですが、そういうところに踏み込み、課題解決を図っていきたいと考えております。

最後に「地域力向上への投資」につきましては、今年度に引き続き道づくり予算としての1億円を含む、総額2億6,422万1千円の道路等維持管理経費等を計上し、人口減少地域の底上げを図っていきたいと思います。また、雪舟くんのバージョンアップとして、予約システムのオンライン化、デジタル回数券の導入などDX化にも踏み切ってまいります。ライドシェアにつきましては、現在3地域で実施しているところではありますが、これに7地区を加え、10地区での実施を目指してまいりたいと考えております。

作山古墳の調査活用事業につきましては、令和7年度から

いよいよ発掘調査を実施していきます。今後6年間かけて発掘調査を実施する予定ですが、令和7年度はその初年度として1,213万6千円の予算を計上しております。作山古墳が未来に渡り、総社市民のアイデンティティとなるよう進めてまいります。

そのほかにも、きびじアリーナの空調導入を予算計上しております。きびじアリーナは、ご承知のとおり大規模災害時の市内最大の避難所です。しかしながら、現在、空調設備がないことから、夏季・冬季に災害があった場合には、大変厳しい環境での避難生活になる恐れがあります。平成30年豪雨災害時の経験を踏まえた空調設備設置に関する要望書をいただいていることも踏まえ、この度、空調導入を決めました。また、県内でも有数の規模を誇る施設であるにも関わらず、空調設備がないため敬遠されることもありました。空調導入により利便性を格段に向上させることができるので、今後は市民はもとより、プロスポーツの試合開催等も視野に入れていきたいと考えております。

これらの施策を中心に、市民の幸福度を高め、総社市の明

るい未来をつくるような予算としていきたいと考えております。

3) 11月議会での検討について

ここで、11月議会での検討事項について、その結果をご報告いたします。

岡崎議員から、子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種の期間延長の内容と周知方法はどうかとのご質問がありました。これについては、1月15日に対象者へ個別通知するとともに、公式LINEやホームページなどでも周知しております。

また、山田議員から、公園の管理においてLINE通報ができないかとのご提案がありました。これについては、2月21日から開始いたしました。

また、山名議員から、認可保育所を増やしてはどうかとのご提案がありました。これについては、民間による認可保育所の建設等について協議中でございます。

本議会がこの議場で行う最後の議会となります。これまで、

議員の皆様と数多くの有意義な議論を重ねてきた議場でございます。

本議会におきましても、これまで以上に活発な議論を重ねることができることを祈念しまして、私からの行政報告とさせていただきます。